



チャレンジ！オープンガバナンス(COG)2024

2025年3月

奥村裕一 (一社)OGN代表理事

三方よし：近江商人のビジネス哲学

- 売り手よし：商売を行う側が適正な利益を得られること
- 買い手よし：商品やサービスを購入する側が満足できること
- 世間よし：取引が社会全体にとっても良い影響をもたらすこと

オープンガバナンスにおける「三方よし」 (公共サービスを共に担う社会)

三方よし	理念の変化	行動変容の合言葉
市民よし	公共サービスの一端を担う	「地域のことは自分ごと」
行政よし	公共サービスを共につくる	「組織中心」から「市民中心」へ
企業よし	公共サービスを専門知で補う	公共圏で「専門知」を活用する

行政だけでなく、市民や企業もそれぞれの持ち味を活かして関わることで、
よりよい公共サービスを目指す
何よりも実践が大事です！

出会いの場のアゴラ
(公共空間提供)

触媒役のファシリテータ
(行政が担う)

地域アゴラ(新たな寄り合い)

変わる市民

地域のことは自分ごと

意見交換の原則 1
誰もが自由に公平に

場が必要
昔の境内・縁側

変わるNPO

市民の支え役

変わる企業

専門知の提供

地域アゴラ

変わる行政

共につくるプラットフォーム

みなで決めたことは
お互い分担実行する

意見交換の原則 2
深く考え熟議する

付録

アゴラ

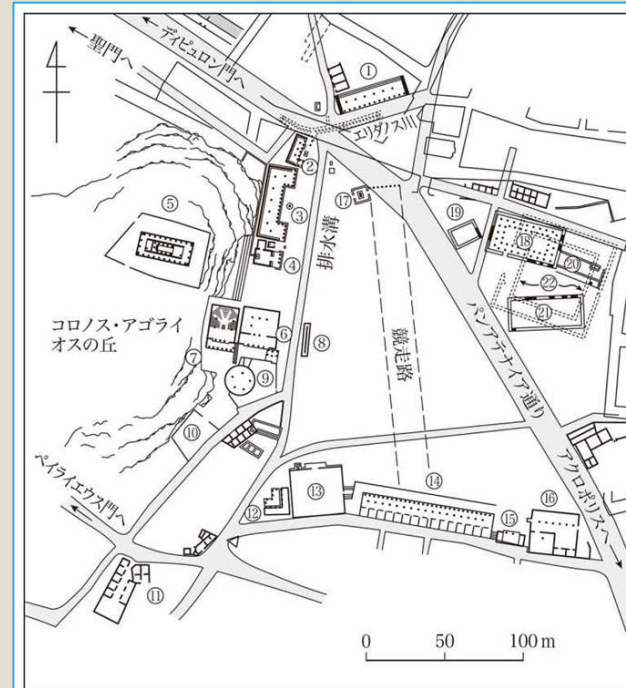
古代ギリシアで人が(もともと自然に)集まって活動する開かれた空間
日本では神社仏閣の境内、そこで始まる寄り合い

- 政治や商業など諸活動の場
 - 政治＝民会・評議会で決定
 - 裁判＝民衆による法廷裁判
 - 商業＝市場としてモノを取引
 - 社交＝哲学対話、交流の場
 - 神聖＝神聖への崇拝の場所
- 世界のどこにもあった！ただし、。。

➡『民主主義の非西洋起源について』

(人類学者:グレーバー)

➡共同体の原点は「助け合い」の精神



アゴラ (前4世紀なかばごろ) (Boegehold 1995, fig. 2 を一部改変)

- | | | |
|-----------------------|------------|-----------------------|
| ① 彩画列柱廊 | ⑦ 評議会議場 | ⑮ 南東の泉 |
| ② 王の列柱廊 | ⑧ 部族名祖像 | ⑯ 造幣所 |
| ③ ゼウス・エレウテリオス列柱廊 | ⑨ 円形堂(トロス) | ⑰ 12 神の祭壇 |
| ④ 父祖のアポロン神殿 | ⑩ 将軍詰所(推定) | ⑱ ① 民衆裁判所の法廷(建物 ABCD) |
| ⑤ ヘパイストス神殿 | ⑪ 牢獄(推定) | ⑲ のちの方形回廊の位置(破線) |
| ⑥ メトロイオン(公文書館・旧評議会議場) | ⑫ 南西の泉 | |
| | ⑬ 矩形周壁 | |
| | ⑭ 南列柱廊 I | |



アテナイ市内

- | | |
|---------------|-----------------|
| ① パルテノン神殿 | ⑥ ディオニュソス劇場 |
| ② アテナ古神殿 | ⑦ ペリクレスの音楽堂 |
| ③ プロピュライア(前門) | ⑧ テセイオン |
| ④ エレクテイオン | ⑨ 迎賓館(プリュタネイオン) |
| ⑤ ペラルギコンの城壁 | ⑩ オリュンピア・ゼウス神殿 |

ハイブリッド地域アゴラ (ファシリテータが肝要)

バーチャルアゴラ

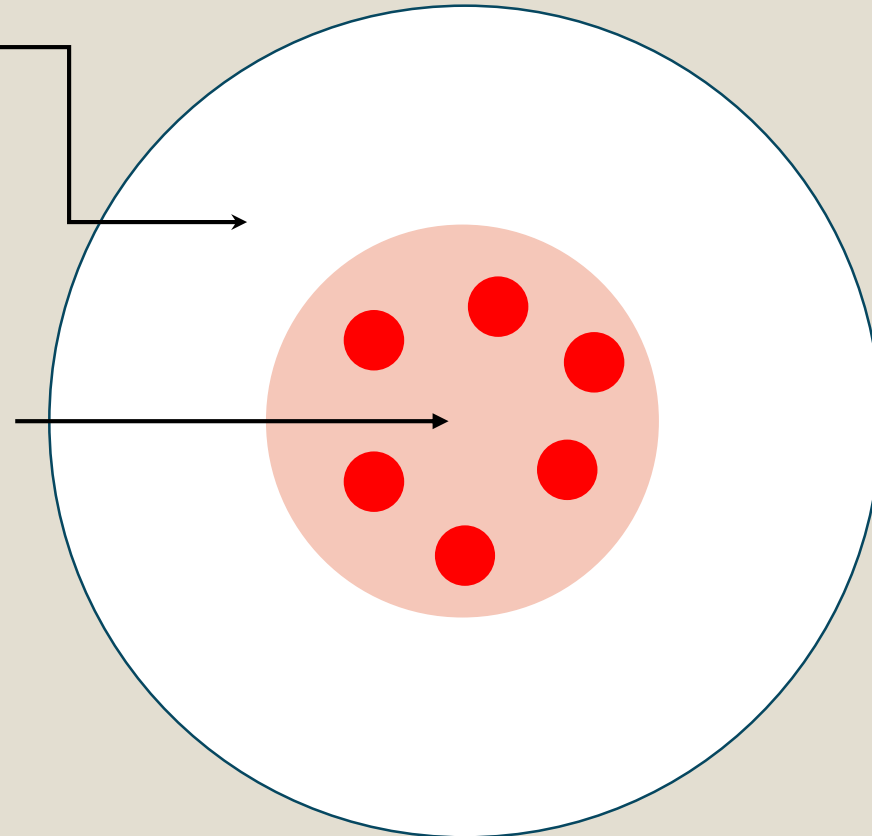
利点：時間と場所からの解放
多数の参加可能

欠点：意見深掘りに工夫必要
記名式か無記名式か

リアルアゴラの中にリアル ミニアゴラが各地にある

利点：突っ込んだ意見交換

欠点：時間と場所の限定
人数に限りあり



1. リアルミニアゴラで課題とアイデアをステージに分けて議論する

2. バーチャルアゴラでその模様を配信し意見を募る

3. その結果をリアルミニアゴラに返して議論を深める

※ ステージ

①課題の深堀と合意

②アイデアづくり

③まとめ作業

(ロジックとデータが必要)

地域アゴラは 実践デモクラシー の場

未来に挑戦！

実践デモクラシー

- ✓ 投票に行くだけ批判しているだけがデモクラシーではありません
- ✓ みなで決めたことを（行政だけに任せるのではなく）分担実行しましょう
- ✓ これが日々の活動の中にある実践デモクラシーです
- ✓ 地域アゴラは実践デモクラシーを育む土壌です
- ✓ COGは実践デモクラシーの成長を応援します

地域アゴラ成功のポイント1

テーマを決めて小さく実践(フェーズ1)

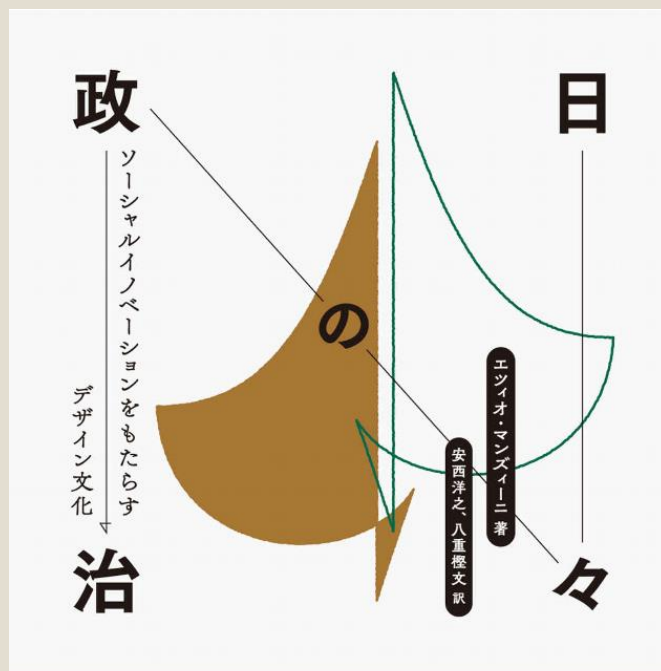
1. 市民と行政の心理的な距離を取り除く
 - このためまずお互い肩書を一旦わきにおく
 - 課題当時者の立場に立つ訓練をする(認知的共感)
2. 課題にまつわる各種データからみえてくるものの意見交換する
3. 課題当時者の立場に立ってみえてくるものを意見交換する
4. 解決したいこと(ニーズ)を合意する(複数あれば一つずつ)
5. 課題解決のために何をすべきか(具体的な手立て)を探索する
6. 市民・行政・企業・中間組織でそれぞれ何をすべきかを明確にする
 - 制度変更ないし新規制度が必要ならその為の現実的な行動指針も立てる

地域アゴラ成功のポイント2

地域アゴラの拡大(フェーズ2)

- 地域でのアゴラ参加者の拡大
 - 日中仕事のある人 高齢者 若年層
- 参加者をくじ引きで集める
 - できればミニアゴラを地域内にいくつかつくる
 - ミニアゴラのファシリテーターはこの指とまれで募る
- アゴラでの議論をオンラインで流す
 - その集約にAIを使って共有する
- ミニアゴラと非参加市民からのフィードバックの集約

イタリアの著名なデザイン思考家の主張は 実践デモクラシーそのもの



デザインが持つ問題解決力と意味形成力、
それらをいかに育み
文化として根付かせていくか——
サービスデザインとサステナブルデザインの
世界的リーダー エツィオ・マンズーニが説く、
社会変革(ソーシャルイノベーション)を実現する
「プロジェクト中心民主主義」への道筋。

私たちは、
変えることが
できる。

BNN
Big Name Network



Politics of the Everyday

Ezio Manzini

BLOOMSBURY